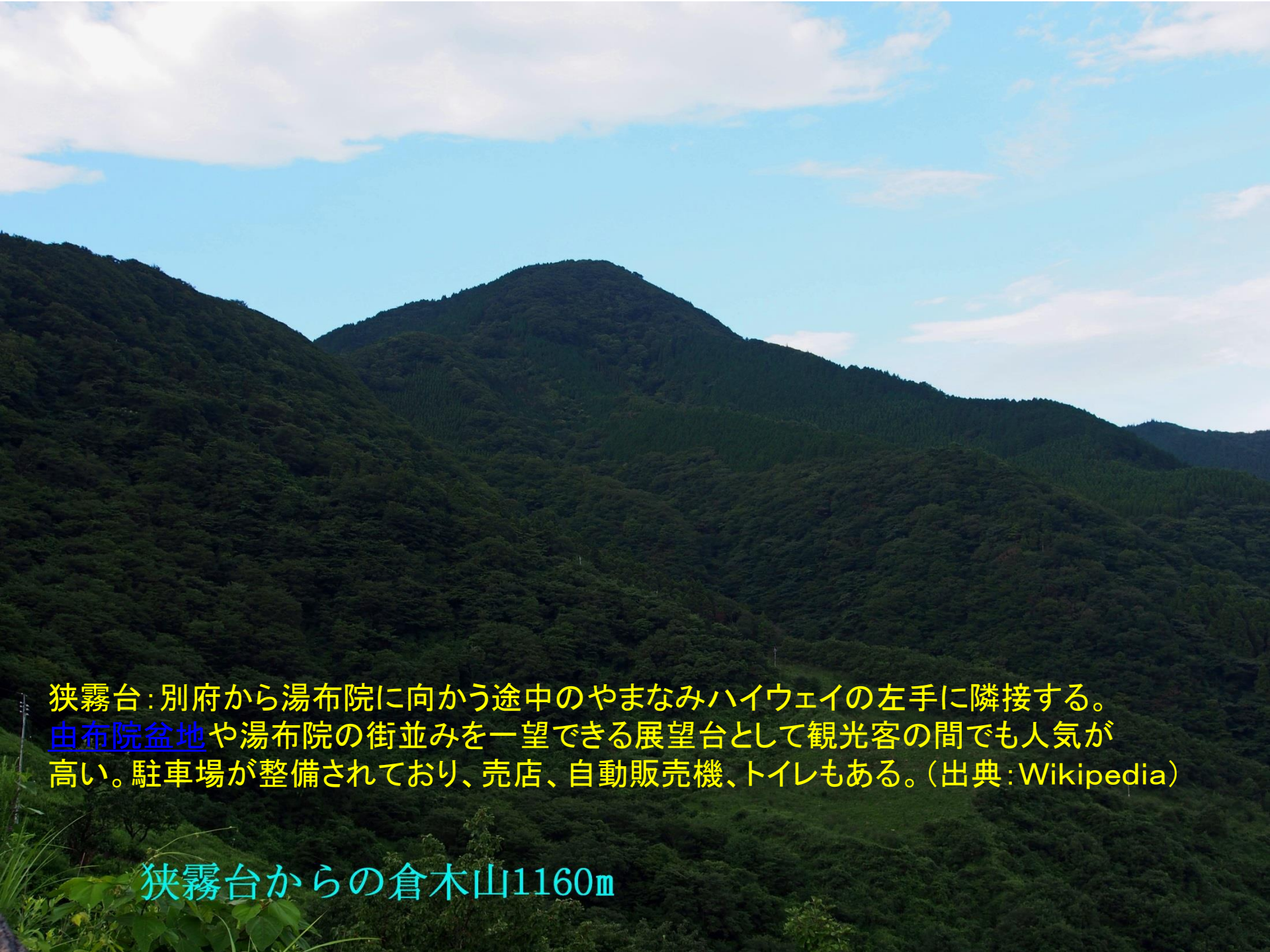
2015.08.21　由布市・倉木山1160mの
オオナンバンギセル、フシグロセンノウ



狭霧台：別府から湯布院に向かう途中のやまなみハイウェイの左手に隣接する。由布院盆地や湯布院の街並みを一望できる展望台として観光客の間でも人気が高い。駐車場が整備されており、売店、自動販売機、トイレもある。（出典：Wikipedia）

狭霧台からの倉木山1160m

狭霧台からの風景

狭霧台からの由布岳１５８３ｍ

（雨乞林道から）

由布岳1583mとシシウド（猪独活）　セリ科

雨乞林道からの展望

クサコアカソ　（草小赤麻）
別名：マルバアカソ（円葉赤麻）　　シシウド(猪独活)　セリ科

雨乞林道沿いのクサコアカソ、キカラスウリ

キカラスウリ(黄烏瓜)　ウリ科

イタドリ(虎杖、痛取)　タデ科
別名；スカンポ 、イタンポ、ドングイ

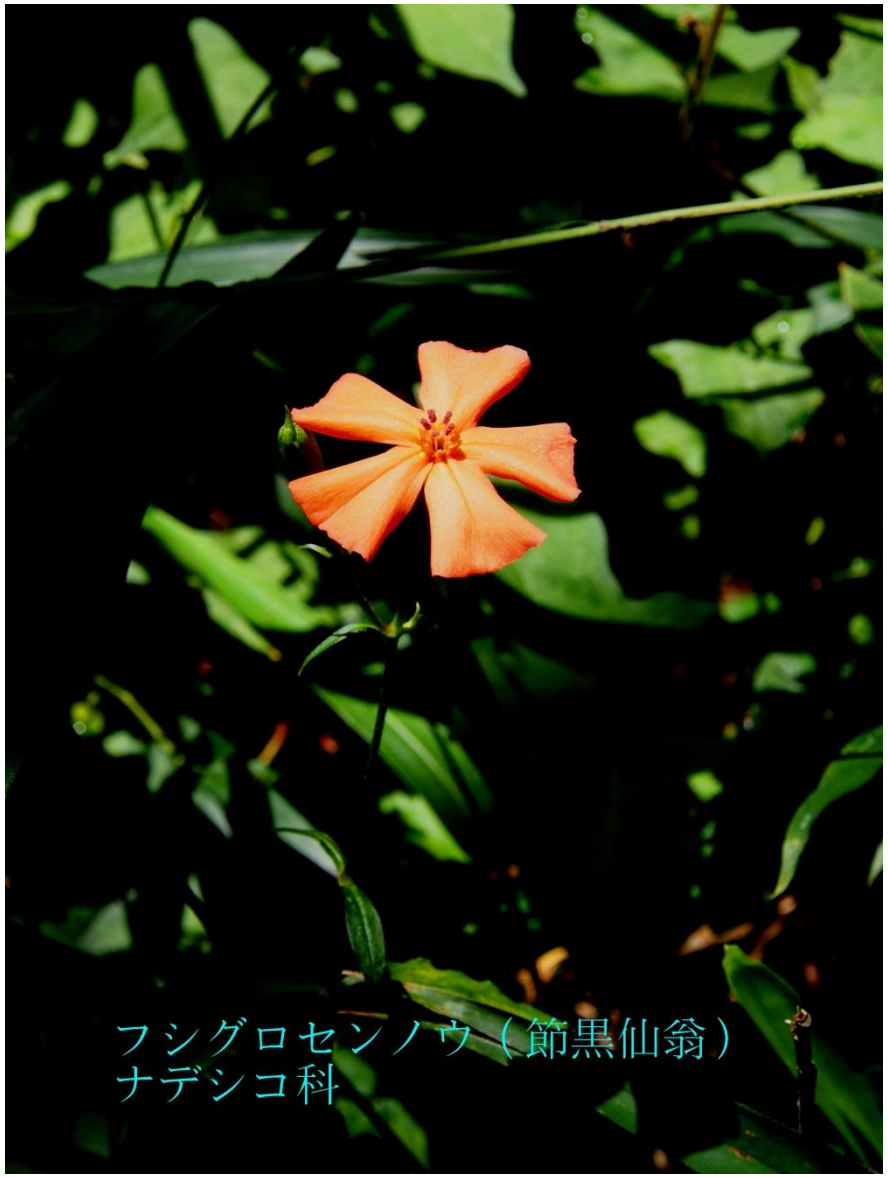
ノリウツギ(糊空木)　ユキノシタ科　落葉低木

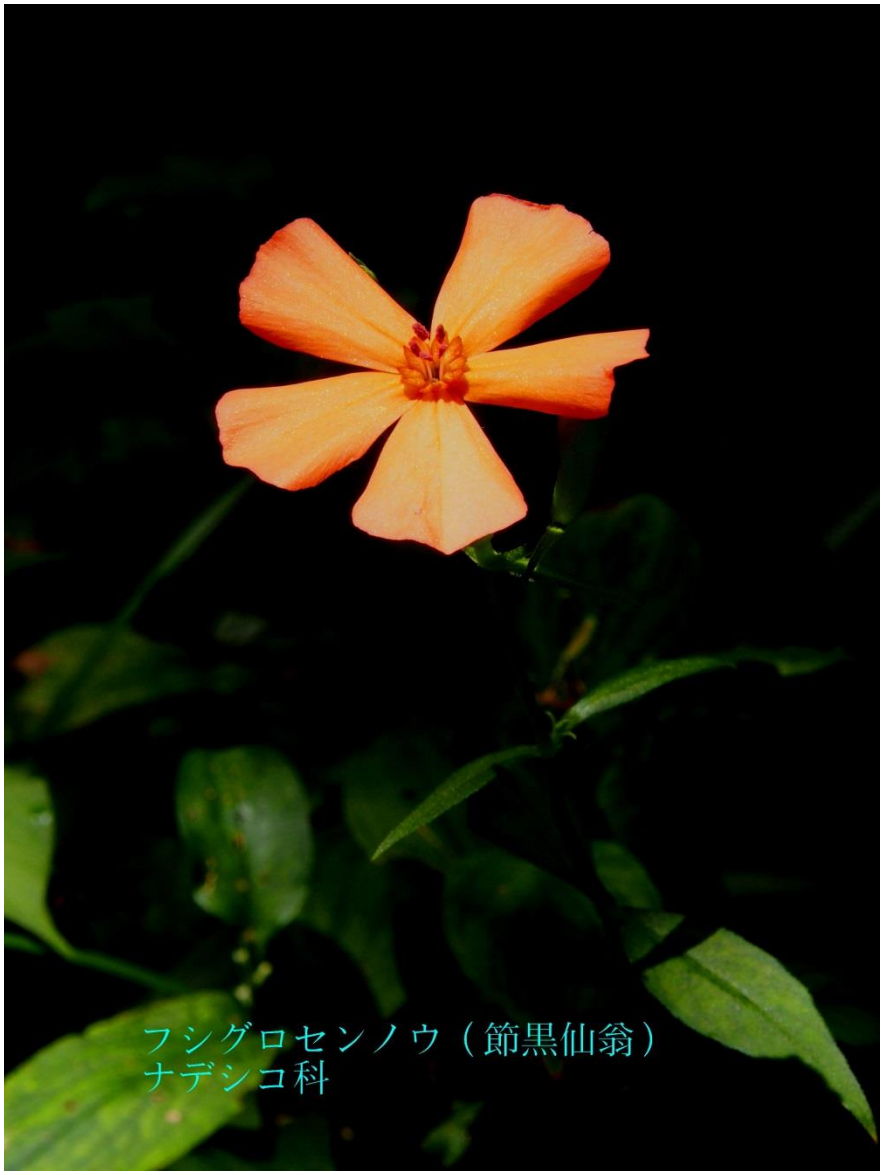
07:18 倉木山1160m登山口駐車場出発

倉木山1160m

コオニユリ(小鬼百合)
ユリ科

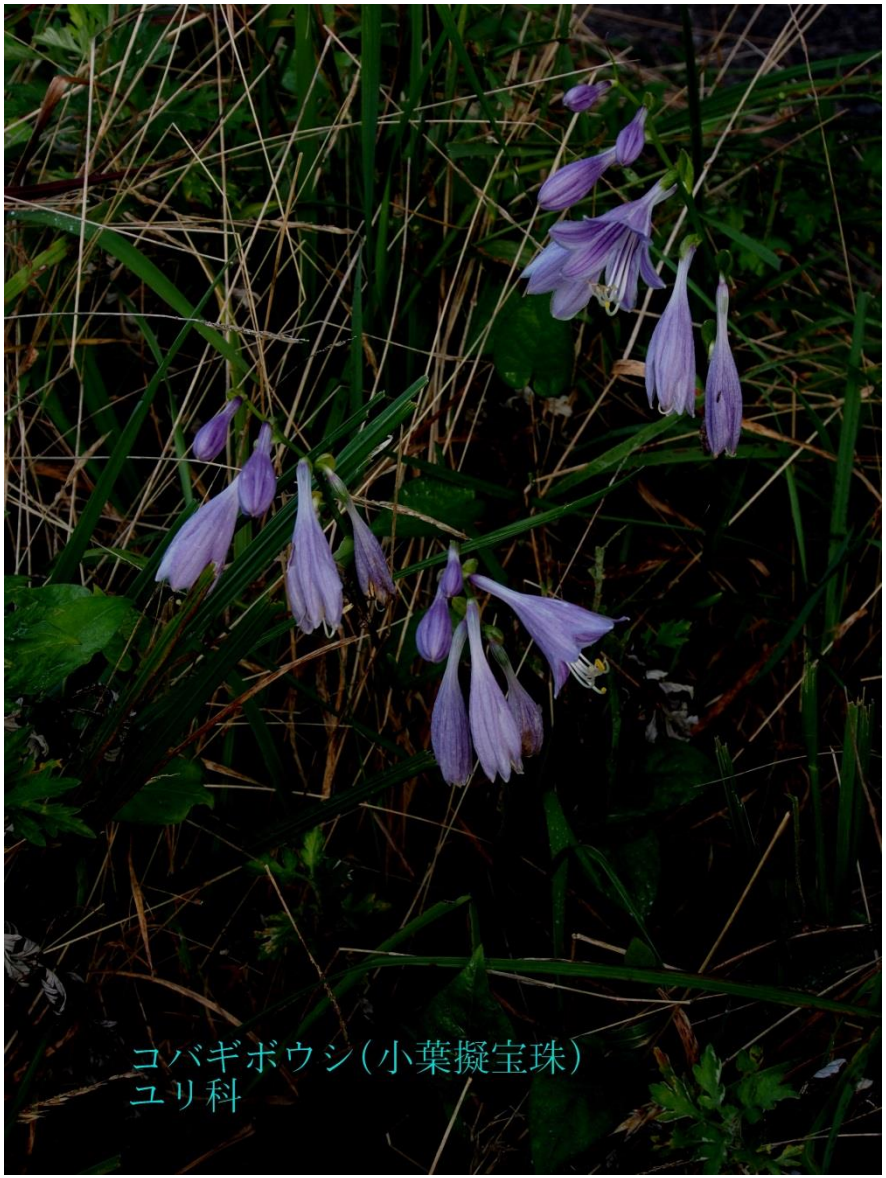
日本の固有種で、本州・四国・九州の山地の林下などに自生する。
田中澄江が『花の百名山』の著書で、雲取山を代表する高山植物の一つとして紹介した。
（出典：Wikipedia）





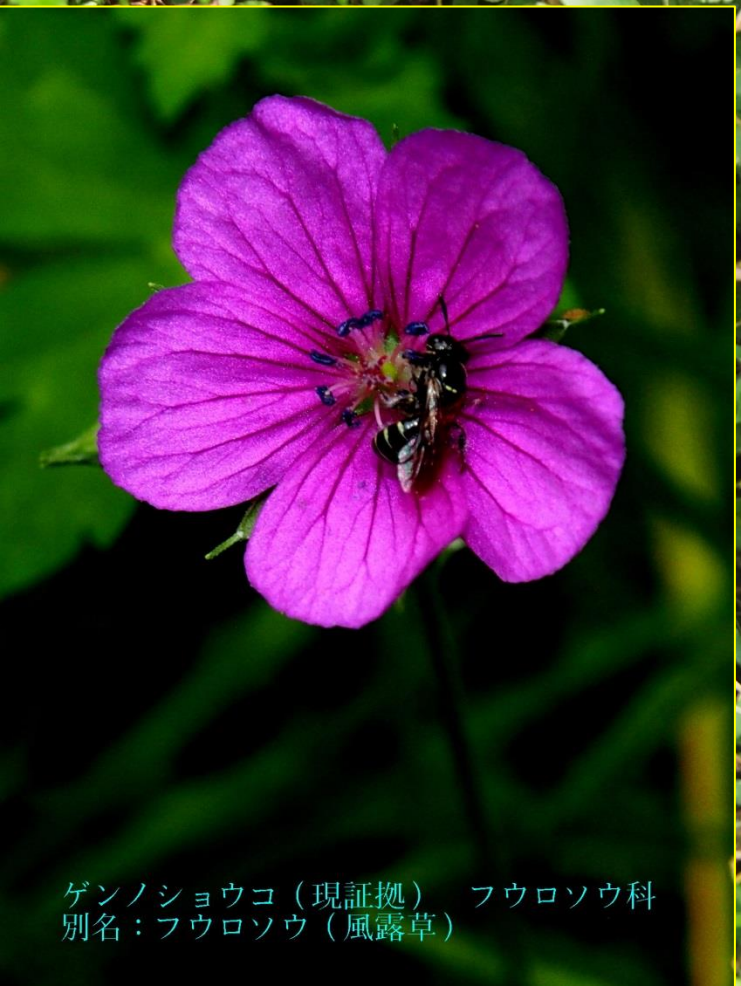
フシグロセンノウ（節黒仙翁）　ナデシコ科

コバギボウシ



ツルボ

マルバハギ（丸葉萩）　ハギ科　落葉低木



ゲンノショウコ（現証拠）　フウロソウ科
別名：フウロソウ（風露草）

倉木山登山口

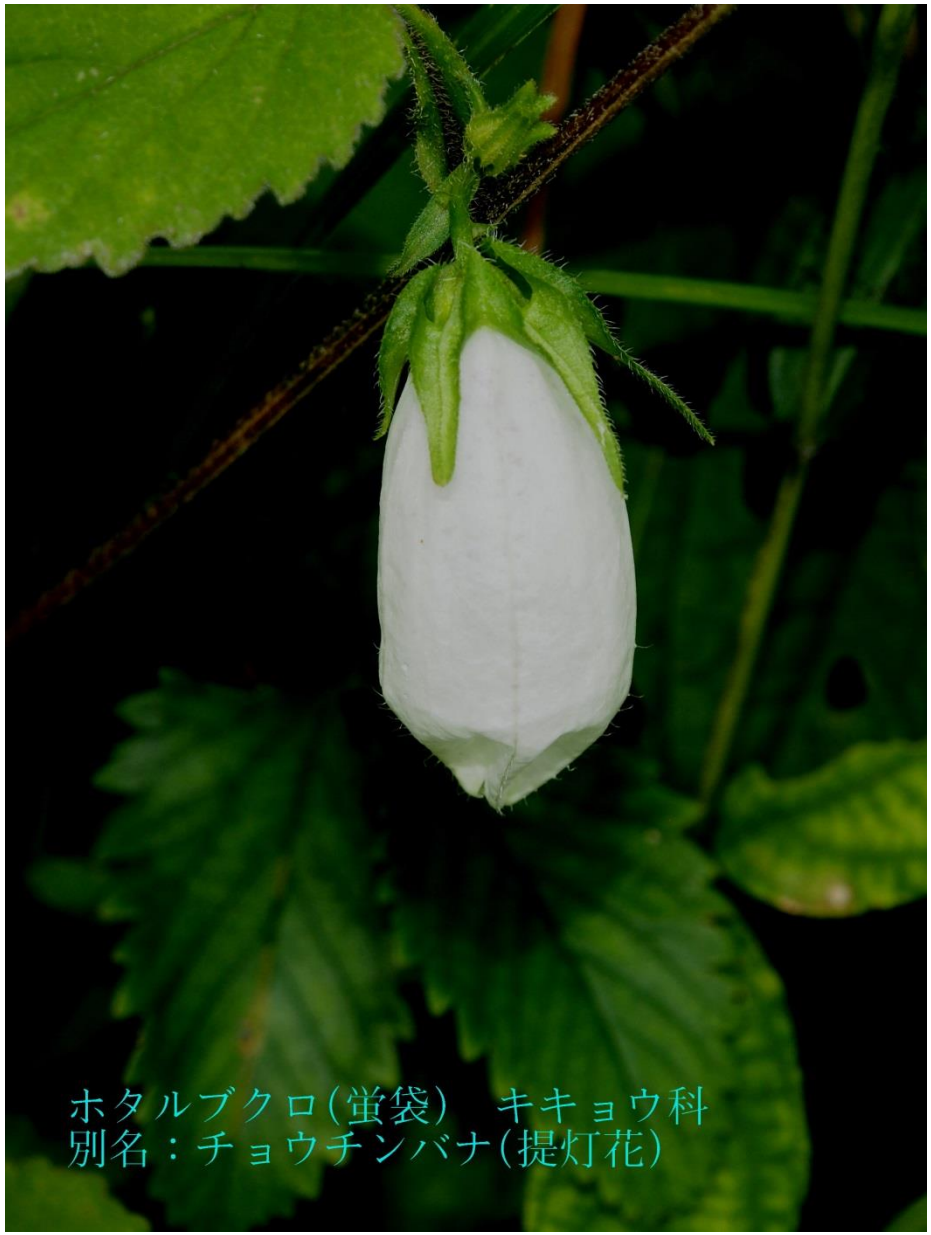
モミジガサ（紅葉笠）
キク科

アキノタムラソウ（秋の田村草）
シソ科

左：直登コース
右：山腹コース
倉木山頂へ
(山麓コース)1時間10分
倉木山を経て 城ヶ岳まで2時間45分
倉木山頂へ
(直登コース)1時間
直登者
右の山腹コースをとる。

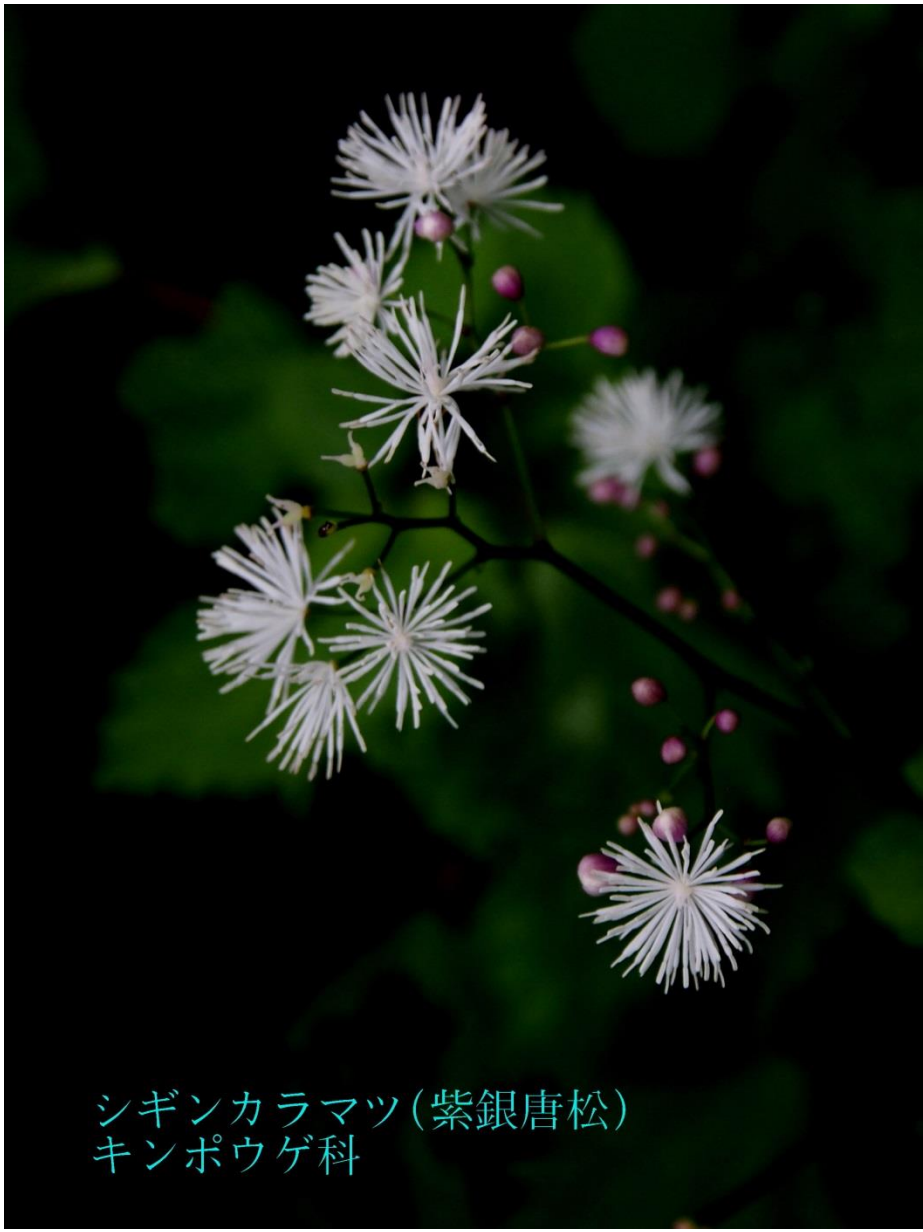
クサアジサイ（草紫陽花）　ユキノシタ科

ホタルブクロ



ホタルブクロ(蛍袋)　キキョウ科
別名：チョウチンバナ(提灯花)

シギンカラマツ



シギンカラマツ(紫銀唐松)
キンポウゲ科

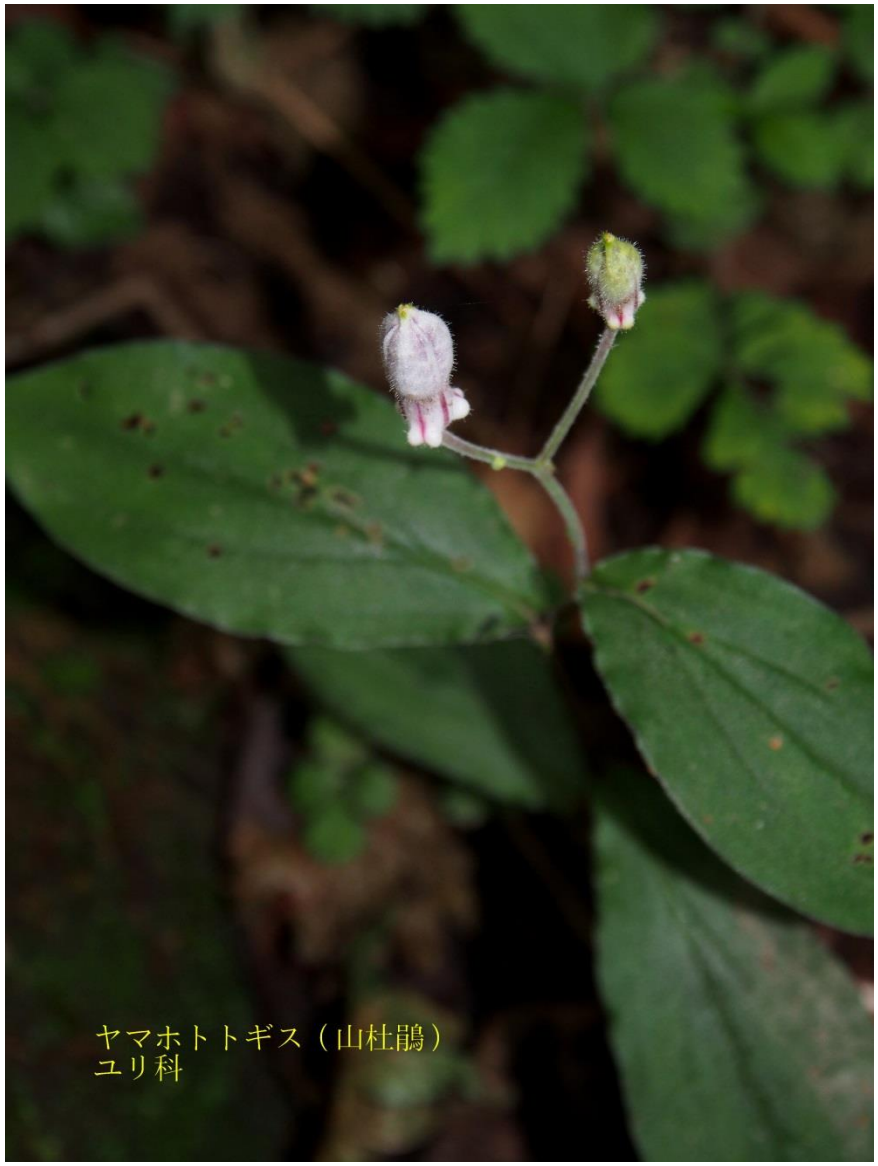
シギンカラマツ（紫銀唐松）
キンポウゲ科

シギンカラマツ（紫銀唐松）
キンポウゲ科

日本固有種で、本州、四国、九州に分布し、山地の林中に生育する。
ときに群生することがある。（出典：Wikipedia）

ヤマホトトギス（山杜鵑）　ユリ科

茎先や上部の葉腋に散房花序をつけ、花被片が強く反りかえり、
花糸にも紫色の斑点がある。（出典：Wikipedia）



ヒヨドリバナ

コケオトギリ

ソバナ(岨菜、蕎麦菜)
キキョウ科

フシグロセンノウ（節黒仙翁）　ナデシコ科

ツクシアザミ（筑紫薊）　キク科

ヒナノウスツボ(雛の臼壺)　ゴマノハグサ科

和名は〈雛の臼壺（うすつぼ）〉の意味で，花の形 による。
（世界大百科事典 第2版）

ヤマミゾソバ(山溝蕎麦)
タデ科

アジサイに似ている。
花が下向きについている。？

倉木山 1.5 km

倉木山 1km

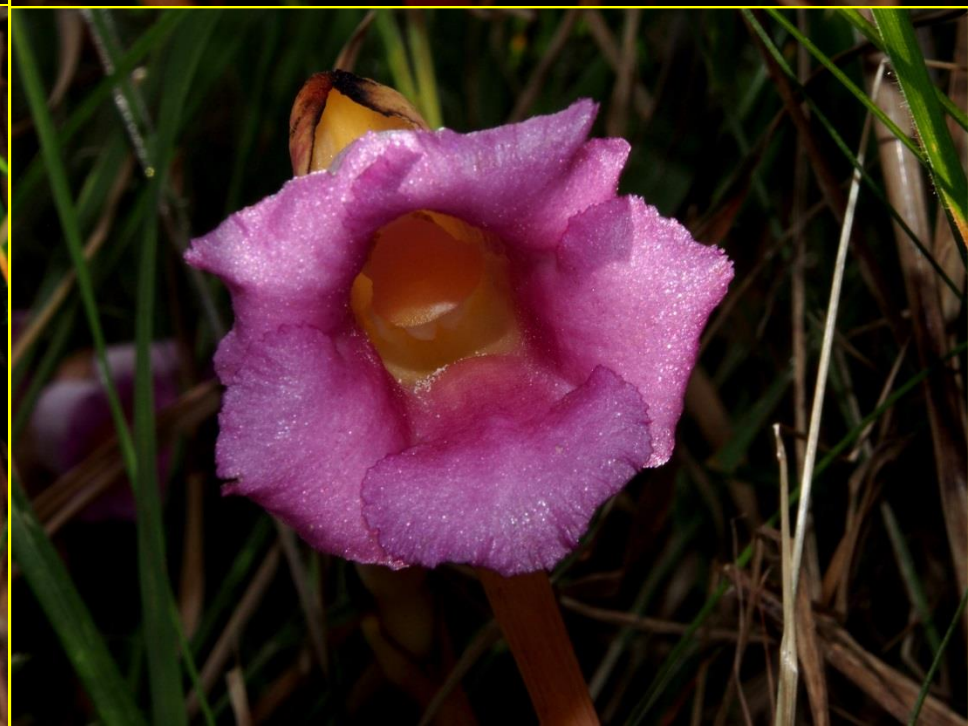
?

ホソバシュロソウ（細葉棕梠草） ユリ科

ホソバノヤマハハコ（細葉山母子）　キク科

花柄の先端に横を向いた大きな紅紫色の花を1個つける。花冠は長さ4-6cmの太い筒型で、先端が5裂し唇形となり、花冠裂片の縁には細かい歯牙がある。（出典：Wikipedia）

オオナンバンギセルと腕時計



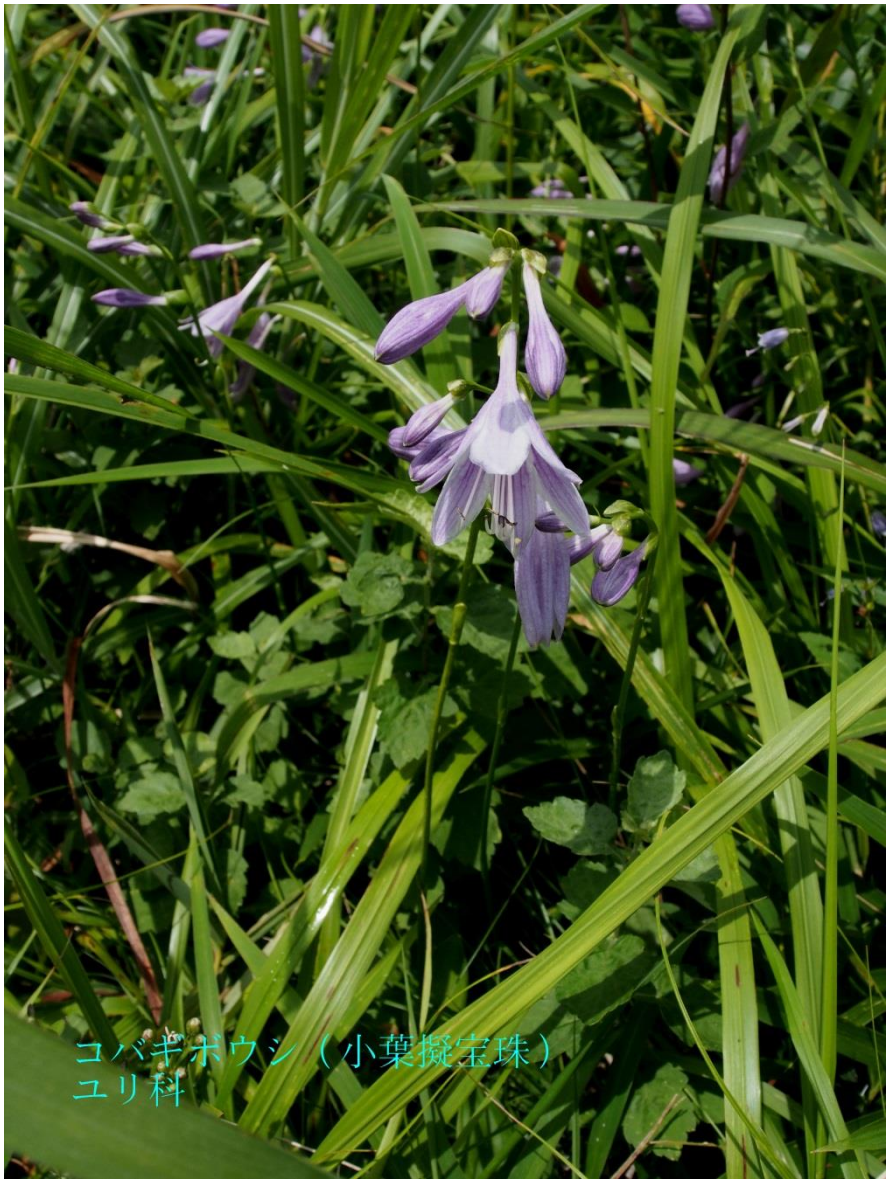
オオナンバンギセル（大南蛮煙管）
ハマウツボ科

オオナンバンギセル（大南蛮煙管）
ハマウツボ科
ヤマトラノオ（山虎の尾）
ゴマノハグサ科

クサフジ

ホソバノヤマハハコ

倉木山
倉木山
1154.9m
S・H・C・別府

鶴見岳1375ｍ
倉木山
1154.9m
S・H・C◆別府

帰りに雨乞林道沿いで見た、コバギボウシ、ヒゴタイ